

## 7. 動名詞

### 1.

次の日本語に合う英語になるように( )内の語を並べかえなさい。

(1) 彼は私が一人でそこへ行くことを主張した。

( on / there / insisted / . / going / he / alone /  
me )

(2) 窓を開けても私がかまいません。

( the / opening / don't / . / window / I / mind )

(3) ついに彼はタバコを吸うのをやめた。

( at / gave / . / smoking / last / he / up )

(4) 彼らは来週、湖に行くことを決めた。

( go / next / lake / decided / . / the / to / they /  
to / week / / )

[解答]

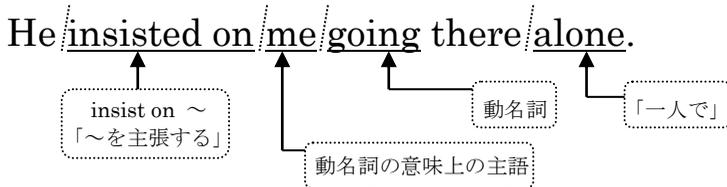
- (1) He insisted on me going there alone.
- (2) I don't mind opening the window.
- (3) He gave up smoking at last.
- (4) They decided to go to the lake next week.

## Note

### 7. 動名詞

#### 1. 動名詞の意味上の主語、動名詞と不定詞

(1) 彼は私が一人でそこへ行くことを主張した。



動名詞は、〈動詞+ing〉の形で「～すること」の意味になり、文の主語や補語、動詞や前置詞の目的語になることは中学内容で習いました。

この動名詞の意味上の主語は次のように表します。

[動名詞の意味上の主語]

- ① 代名詞の場合…所有格か目的格を動名詞の直前に置く。
- ② 名詞の場合… 's をつけて所有格にするか目的格(そのまま)を動名詞の直前に置く。

- ① She got angry about me[my] getting a bad grade in math..  
(私が数学で悪い成績をとったことに彼女は腹を立てた。)
- ② He was proud of his son's[son] getting into medical school.  
(彼は息子が医学部に入ったことを誇りに思っていた。)

(1)の問題では「…私が一人でそこへ行くこと」となっていますので、動名詞 **going** の前に意味上の主語にあたる **me** を置いて、**me going there alone** の語順にしましょう。

## Note

(2) 窓を開けても私はかまいません。

I /don't mind opening /the window.



mind ~ing  
「～することをいやがる」

動名詞と不定詞の名詞的用法はどちらも「～すること」の意味になりますが、その持っている性質は次のように異なります。

[不定詞と動名詞の基本性質]

不定詞…これからすること、未確定のことを表す。

動名詞…過去にしたこと(反復・習慣・経験)、現在していること、  
気持ちの上ではすでにしている未来の行為を表す。

こうした性質の違いがありますので、動詞によって目的語に不定詞をとるのか、動名詞をとるのか異なります。まず、動名詞を目的語にとる動詞は次のようになります。

〔動名詞だけを目的語にとる動詞〕

…すでに起こったことや一般的なことを表す動詞が多い。

practice (練習する)	enjoy (楽しむ)
appreciate (感謝する)	consider (熟考する)
imagine (想像する)	fancy (思い描く)
deny (否定する)	admit (認める)
finish (終わる)	stop (やめる)
quit (やめる)	give up (あきらめる)
put off (延期する)	postpone (延期する)
avoid (避ける)	help (避ける)
escape (免れる)	miss (しそこなう)
mind (嫌がる)	resist (拒否する)
suggest (提案する)	recommend (勧める)

I finished cleaning my room.

(私は自分部屋をそうじし終えた。)

(2)の問題は、動詞が **mind** なのでその後には動名詞 **opening** を置くことになります。「…開けても…かまいません」なので、**don't mind opening** とします。**mind** は「～を嫌がる、気にする」という意味の動詞です。

## Note

(3) ついに彼はタバコを吸うのをやめた。

He gave up smoking at last.

give up ~ing

「～することをやめる」

smoke

「タバコを吸う」

「ついに」

(3)の問題では、「～をやめる」の **give up** が動詞なので、その後には動名詞を置くこととなります。「…タバコを吸うのをやめた」ですから、過去形にして **gave up smoking** としましょう。

## Note

(4) 彼らは来週、湖に行くことを決めた。

They decided to go to the lake next week.

decide to + 動詞の原形

「～することを決める」

「湖」

「来週」

不定詞を目的語として取る動詞は、中学内容で述べたものも含めて次ページのようになります。

(4)の問題では、**decide**(～を決める)を使いますので、その後には不定詞を置くこととなります。「…に行くことを決めた」なので、**decided to go** としましょう。

[不定詞だけを目的語にとる動詞]

…未来に向けて約束・希望・意図などを表す動詞が多い。

hope (希望する)

wish (願う)

desire (強く望む)

mean (意図する)

aim (目指す)

expect (期待する)

plan (計画する)

decide (決定する)

determine (決心する)

choose (選ぶ)

agree (同意する)

promise (約束する)

I promised to study math harder.

(私はもっと熱心に数学を勉強すると約束した。)

## 2.

次の日本語に合う英語になるように( )内の語を並べかえなさい。

(1) 彼女は学校に遅れないことを誇りにしている。

( proud / being / of / . / for / she / school / not /  
is / late )

(2) 私は彼女にうそをついたことを後悔している。

( having / her / regret / . / a / told / lie / I )

(3) マイクは罰せられることを恐れていた。

( afraid / . / being / of / Mike / was / punished )

[解答]

- (1) She is proud of not being late for school.
- (2) I regret having told her a lie.
- (3) Mike was afraid of being punished.

## Note

### 2. 動名詞の否定形・完了形・受動態

- (1) 彼女は学校に遅れないことを誇りにしている。

She is proud of not being late for school.

be proud of ~  
「～を誇りにしている」

動名詞の否定形

be late for ~  
「～に遅れる」

動名詞の否定形は次のようになります。

動名詞の否定… doing の直前に not や never を置く。

She is proud of not wasting any money.

(彼女はお金を無駄遣いしないことが自慢だ。)

(1)の問題では「…学校に遅れないことを…」となっていますので、not being late for school を「～を誇りにする」の is proud of の後に続けてください。

## Note

(2) 私は彼女にうそをついたことを後悔している。

I / regret / having told / her / a lie.

「～を後悔する」

動名詞の完了形  
動詞が表す「時」より  
「前の時」を表す

tell A a lie  
「A にうそを言う」

動名詞の完了形は次のようになります。

動名詞の完了形… **having**＋過去分詞

述語動詞より以前に起こったことを明示する  
ときに用いる。

He was punished for **having cheated** on the exam.

(彼は試験でカンニングをして罰せられた。)

(2)の問題では、「…後悔している」よりも「…うそをついた」は前のことなので、**having told** と動名詞の完了形を使うこととなります。

ただし、英語は簡潔な文の方が好まれるので、文脈上、時制の前後関係に誤解が生じなければ、完了形の動名詞にする必要はありません。動名詞そのものが過去志向の性質をもつため、完了形の動名詞が使われる頻度はあまり高くないのが実情です。

## Note

(3) マイクは罰せられることを恐れていた。

Mike was afraid of being punished.

be afraid of ~  
「～を恐れる」

動名詞の受動態  
being+過去分詞  
「～されること」

punish  
「～を罰する」

動名詞の受動態は次のようになります。

動名詞の受動態… being+過去分詞 「～されること」

He didn't like being treated that way.

(彼はそんなふうに取り扱われるのが好きではなかった。)

(3)の問題では「…罰せられること…」となっていますので、動名詞の受動態を使って **being punished** を作りましょう。これを「…を恐れていた」の **was afraid of** の後に続けることとなります。

### 3.

次の日本語に合う英語になるように( )内の語を並べかえなさい。

(1) 窓を開けてくれませんか。

( you / the / ? / window / mind / would /  
opening )

(2) 事務所に着くとすぐに彼はドアをノックした。

( at / he / office / arriving / , / on / on / door /  
. / the / knocked / the )

(3) 混雑した通りを渡るときは注意しなさい。

( in / street / the / careful / . / busy / be /  
crossing )

(4) 彼はこの写真を見ると必ず祖父を思い出す。

( without / this / remembering / see / his /  
he / grandfather / picture / can't )



mind は元々「～を嫌だと思ふ、～を気にする」という意味で、**Would[Do] you mind ~ing?** は、文字通りの直訳は「～するのは嫌ですか」です。そこから広がって「～してくれませんか」と依頼の意味になりました。

ですから、これに対する答え方は、「いいですとも」には、**Certainly not. Of course not. No, not at all.**、「いいえ、だめです」には、**Yes, I do mind. I mind it very much.**などとします。依頼の実質的な内容に反応して応じる場合は、**Yes, certainly. Sure. Surely.** など、応じられない場合は、**I'm sorry I can't, because ~. I'm sorry, but ~.** などと答えます。

## Note

(2) 事務所に着くとすぐに彼はドアをノックした。

On arriving at the office,

on ~ing

「～するとすぐに」

arrive at ~ 「～着く」

he knocked on the door.

knock on ~ 「～をノックする」

(2)の問題では、次の慣用表現が使われています。

on ~ing      「～するとすぐに」

前置詞 **on** の基本的な意味は「接触」です。このイメージから、ある動作とある動作が「接触」している、つまり、「すぐに行われる」といったイメージの表現です。

## Note

(3) 混雑した通りを渡るときは注意しなさい。

Be careful/in crossing/the busy street.

in ~ing 「~するとき」

cross 「~を渡る」

「混雑した通り」

in ~ing 「~する際に、~するときに」

(3)の問題では、上の表現を用いて英文を作りましょう。

## Note

(4) 彼はこの写真を見ると必ず祖父を思い出す。

He/can't see/this picture

without remembering/his grandfather.

can't ... without ~ing  
「...すると必ず~する」 ← 「~せずに...できない」

(4)の問題は次のような表現を使っています。

- ① without ~ing 「~せずに」「~することなしで」
- ② never[cannot] ... without ~ing 「...すると必ず~する」

②は「~せずに...できない」から「...すると必ず~する」になります。

次の日本語に合う英語になるように( )内の語を並べかえなさい。

(5) ドライブに行くのはどうですか。

( you / going / drive / do / to / for / what / ? /  
say / a )

(6) アレックスは箸で食べるのに慣れている。

( is / eating / . / chopsticks / used / Alex / to /  
with )

(7) 車を運転するということになると、彼は専門  
家です。

( to / it / , / is / car / when / driving / expert /  
comes / . / a / he / an )

[解答]

- (5) What do you say to going for a drive?  
(6) Alex is used to eating with chopsticks.  
(7) When it comes to driving a car,  
he is an expert.

## Note

(5) ドライブに行くのはどうですか。

What do you say to going for a drive?

What do you say to ~ing  
「～するのはどうですか」

go for a drive  
「ドライブに行く」

(5)の問題は、次の慣用表現を使って英文を作りましょう。

What do you say to ~ing 「～するのはどうですか」

What do you say to going for a drive?

(ドライブに行くのはどうですか。)

「～することに対してはあなたは何を言いますか」が文字通りの意味ですが、日本語らしくすると「～するのはどうですか」になります。

## Note

(6) アレックスは箸で食べるのに慣れている。

Alex is used to eating with chopsticks.

be used to ~ing  
「~することに慣れている」

「箸で」  
with ~ 「~を使って」

(6)の問題は、次の表現を使っています。

be used to ~ing 「~することに慣れている」

Alex **is used to eating** with chopsticks.

(アレックスは箸で食べるのに慣れている。)

これは元々、use「使用する」の意味が、そこから「習慣にする」、そして「~に慣れている」と広がった意味を使った表現です。

なお、used to +動詞の原形「(以前は)~だった」と混同しないよう注意して下さい。

## Note

(7) 車を運転するということになる、彼は専門家です。

When / it comes to driving a car,

↑  
when it comes to ~ing  
「～するということになる」と

he / is / an expert.

↑  
「専門家」

(7)の問題は、次の表現を使って英文を作ってください。

when it comes to ~ing 「～するということになる」と

When it comes to playing tennis, he can't talk about anything.  
(テニスをするということになると、彼は何も話せない。)

その他、次のような表現も覚えておきましょう。

object to ~ing 「～することに反対である」  
be opposed to ~ing 「～することに反対である」

We object to building a dam in our village.  
(自分たちの村にダムを建設することに我々は反対である。)

次の日本語に合う英語になるように( )内の語を並べかえなさい。

(8) 彼女が素晴らしいピアニストであることは  
言うまでもない。

( without / that / pianist / . / goes / saying /  
it / is / she / an )

(9) 誰がその試合に勝つかは言うことができない。

( is / will / telling / . / win / there / who / the /  
no / game )

(10) この本は読む価値がある。

( worth / book / reading / . / this / is )

(11) 彼の冗談を考えるといつも私は笑わずには  
いられない。

( help / whenever / think / can't / . / I / I /  
his / joke / laughing / of )

[解答]

- (8) It goes without saying that  
she is an excellent pianist.
- (9) There is no telling who will win the game.
- (10) This book is worth reading.
- (11) I can't help laughing  
whenever I think of his joke.

### Note

(8) 彼女が素晴らしいピアニストであることは  
言うまでもない。

It goes without saying that

It goes without saying that ~  
「～であることは言うまでもない」

接続詞 that

「she is an excellent pianist.」

「素晴らしい」

(8)の問題は次の表現を使って英文を作りましょう。

It goes without saying that S+V 「～は言うまでもない」

## Note

(9) 誰がその試合に勝つかは言うことができない。

There is no telling 「who will win the game.」

There is no ~ing  
「～することはできない」

「誰がその試合に勝つか」  
間接疑問文

(9)の問題は、次の表現がポイントになっています。

There is no ~ing 「～することができない」

There is no knowing what she will do.

(彼女は何をしでかすかわからない。)

## Note

(10) この本は読む価値がある。

This book is worth reading.

be worth ~ing  
「～する価値がある」

(10)の問題は次の表現を使って英文を作りましょう。

be worth ~ing 「～する価値がある」

His speech is worth listening to.  
(彼の演説は聞く価値がある。)

## Note

(11) 彼の冗談を考えるといつも私は笑わずには  
いられない。

I can't help laughing

can't help ~ing  
「～せずにはいられない」

whenever I think of his joke.

「～ときはいつでも」

「～のことを考える」

(11)の問題は、次の慣用表現が用いられています。

can't help ~ing 「～せざるをえない、思わず～してしまう」

この can't help ~ing の help は「～を避ける」の意味です。「～を避けることができない」→「～せざるをえない」、「思わず～してしまう」と考えられます。

次の日本語に合う英語になるように( )内の語を並べかえなさい。

(12) トムは仕事を終えたとき、歌いたい気がした。

( singing / the / felt / he / . / like / when /  
Tom / work / finished )

(13) 騒音が昨夜、私が眠るのを妨げた。

( sleeping / night / prevented / . / last / the /  
me / noise / from )

(14) こぼれた牛乳を嘆いてもむだだ。

(覆水盆に帰らず)

( crying / is / spilled / . / milk / it / over /  
use / no )

[解答]

(12) Tom felt like singing when he finished  
the work.

(13) The noise prevented me from sleeping  
last night.

(14) It is no use crying over spilled milk.

## Note

(12) トムは仕事を終えたとき、歌いたい気がした。

Tom felt like singing



feel like ~ing 「～したい気がする」

when he finished the work.



接続詞 when 「～とき」

(12)の問題は、次の慣用表現がポイントです。

feel like ~ing 「～したい気がする」

I don't feel like singing now. (私は今は歌う気がしない。)

## Note

(13) 騒音が昨夜、私が眠るのを妨げた。

The noise / prevented / me / from sleeping

「騒音」

prevent A from ~ing  
「A が~するのを妨げる」

/ last night.

(13)の問題は次の慣用表現を使って英文を作ってください。

prevent A from ~ing 「A が~するのを妨げる」

Illness prevented me from coming to school.

(病気のため私は学校へ行けなかった。)

## Note

(14) こぼれた牛乳を嘆いてもむだだ。

It is / no use / crying over spilled milk.

It is no use ~ing  
「~してもむだだ」

cry over ~  
「~を嘆く」

「こぼれた牛乳」  
spilled...spill 「~をこぼす」  
の過去分詞

(14)の問題は次の表現がポイントです。

It is no use ~ing 「～してもむだである」
-------------------------------

中学内容のものや、その他ここで取り上げられなかったものも含めて主なものをまとめると次のようになります。

[動名詞の慣用表現のまとめ]

Would[Do] you mind ~ing?	「～していただけますか」
on ~ing	「～するとすぐに」
in ~ing	「～する際に、～するときに」
without ~ing	「～せずに」
What do you say to ~ing	「～するのはどうですか」
look forward to ~ing	「～するのを楽しみにしている」
be used to ~ing	「～することに慣れている」
when it comes to ~ing	「～するということになる」と
object to ~ing, be opposed to ~ing	「～することに反対である」
It goes without saying that S+V	「～は言うまでもない」
There is no ~ing	「～することができない」
can't help ~ing	「～せざるをえない、思わず～してしまう」
be worth ~ing	「～する価値がある」
need ~ing	「～される必要がある」
feel like ~ing	「～したい気がする」
prevent[keep, stop] A from ~ing	「Aに～させないようにする」
… of one's own ~ing	「自分で～した…」
It is no use[good] ~ing	「～してもむだである」
How[What] about ~ing	「～しませんか、～するのはどうですか」
be on the point of ~ing	「まさに～しようとするところである」
devote … to ~ing	「～することに…を捧げる」

